

環境経営の効率化に向けて~ 環境効率指標の取り組みと課題

2004年10月19日

凸版印刷株式会社 生産·技術·研究本部 エコロジーセンター



トッパングループの事業分野



情報・ネットワーク系

- ・証券・カード分野(株券、通帳、カードなど)
- ・商業印刷分野(ポスター、カタログ、POPなど)
- ・出版印刷分野(書籍、週刊誌、出版企画など)
- E ビジネス分野(インターネット、コンテンツなど)

生活環境系

- ・パッケージ分野(軟包装材、紙器、液体容器など)
- で、産業資材分野(化粧シート、壁紙、電磁波シールドな

エレクトロニクス系

(LSI設計、フォトマスク、カラーフィルターなど)



情報コミニュケーション産業

トッパングループの環境への取組み



エコガード活動

生産現場での 環境保全活動

- ・環境管理・監査の徹底
- 療棄物対策
- ・資源・エネルギーの有効活用
- ·公害対策、上記内容の 研究・開発
- ·社内教育·啓発

<u>エコクリエイティブ活動</u>

環境配慮型製品の研究·開発 対外活動における総合的な 環境保全支援活動

- ·環境配慮型製品の 企画・研究・開発・販売
- ・環境配慮型印刷の推進
- ・環境ビジネス支援
- ・循環型社会づくりへの 取組み

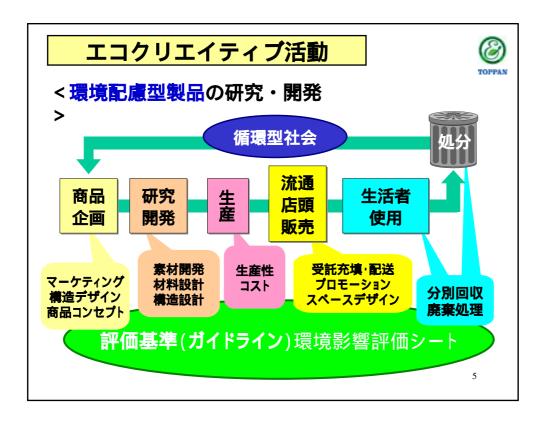
3

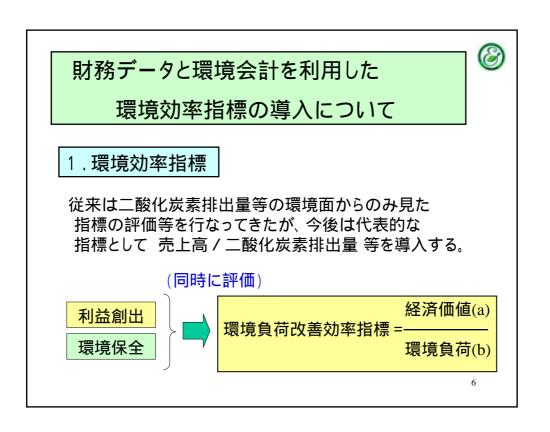
エコガード活動



汚染予防 --- 各工場の環境負荷把握と目標管理省エネルギー/省資源 -- 削減されず再検討中廃棄物管理 --- ゼロエミッションの展開(紙屑が工場排出の 67% 97.3% のリサイクル)化学物質の管理 --- 「PRTRシステム」構築(『ケミリューション』ソフト使用)

4





経済価値(a): 売上高、工場内部生産額

環境負荷(b):二酸化炭素排出量、トルエン排出量、 廃棄物排出量、資源投入量



環境保全効果

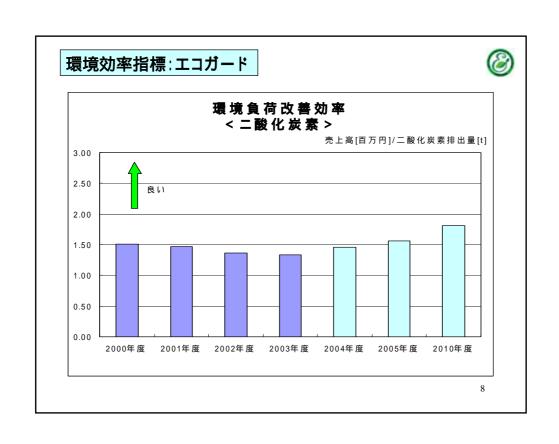
環境コスト

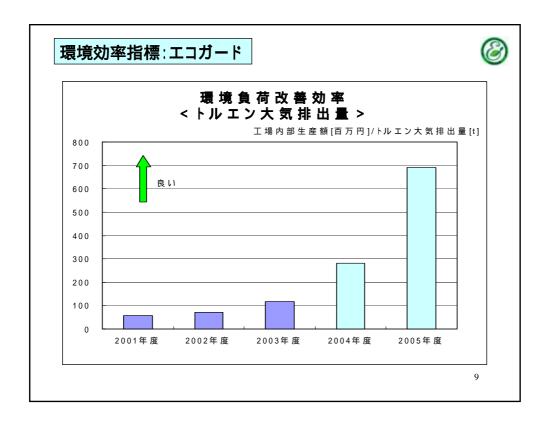


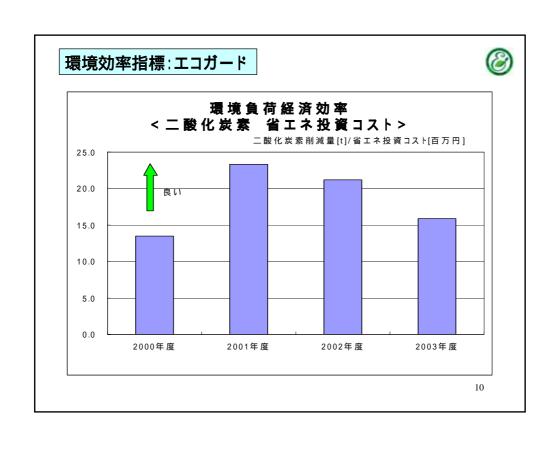
環境負荷経済効率指標

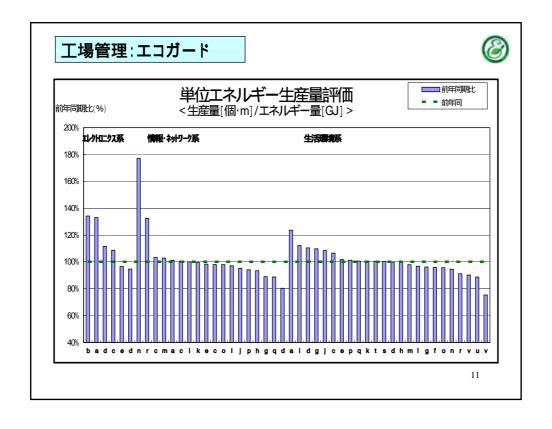
			集計範囲
エコ ガード	環境負荷改善効率	売上高/二酸化炭素排出量	全社
		工場内部生産額 / トルエン排出量	該当工場
		売上高 / 廃棄物排出量	全社
		売上高/資源投入量	全社
	環境負荷経済効率	二酸化炭素削減量/省エネ投資コスト	該当工場
	物流効率	売上高(凸版物流) / 二酸化炭素排出量(物流起源)	該当工場
エコ	環境関連ビジネス比率	環境配慮型製品等売上高	全社
クリエイティ	 	環境関連ビジネス売上高	全社
		環境配慮型製品等売上高 / 全売上高	全社

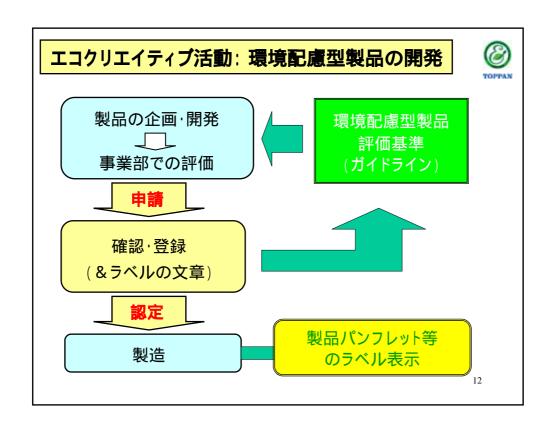
7



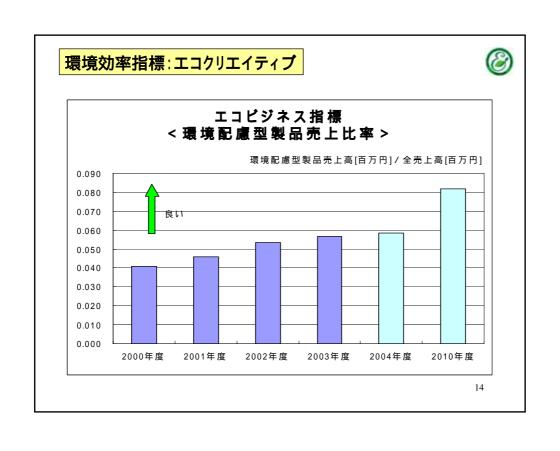












まとめと課題

- 1.環境会計のデータをすべての効率性指標に適合 させることは難しい。
 - 2.財務データと環境負荷データを関連付けることが環境効率性を把握するに適確な事例がある。
 - 3. 売上金額や付加価値額、営業利益を経済価値 として用いる場合、生産工程の努力が反映されない場合がある。

以上

15